

第2回長崎県がん診療連携拠点病院研修会

(アンケート調査結果)

開催日 平成20年11月29日(土曜日)

時間 15:30~17:30

場所 長崎大学医学部・歯学部附属病院 臨床大講義室

出席者 73名 回答者 33名

出席者の内訳

- | | | |
|-------------|-----|------------------------------|
| ① 医師 | 22名 | (大学病院:12名 地域拠点病院:7名 他施設:3名) |
| ② 看護師 | 30名 | (大学病院:6名 地域拠点病院:11名 他施設:13名) |
| ③ 薬剤師 | 9名 | (大学病院:0名 地域拠点病院:2名 他施設:7名) |
| ④ 臨床心理士 | 1名 | (大学病院:1名) |
| ⑤ ソーシャルワーカー | 5名 | (大学病院:2名 地域拠点病院:3名) |
| ⑥ 事務 | 6名 | (大学病院:6名) |

今回の講演『外来化学療法の現状報告』、「チーム医療としての外来化学療法 一埼玉医科大学国際医療センターの取り組み」の内容について

① よかったところ

- ・ 抗がん剤治療について、患者さんが期待していることと医療者側が考えていることが違うと感ずることがありました。ドクターと患者さんの受け取り方の違いに気づいてあげられる立場にいると感じました(看護師)
- ・ 緩和の話(医師)
- ・ 外来化学療法に関していろいろな取り組みが聞けて良かった。内容も判りやすかった(医師)
- ・ わかりやすい内容でした。(看護師)
- ・ 日本の最先端である埼玉医科大学国際医療センターの現状を聞くことができよい機会でした。今後もぜひ情報を聞き、参考にしていきたいと思う。(看護師)
- ・ 化療の現状についてもよくわかり、問題点についても同感するところが多かったです。わかりやすい講演だったと思います。(看護師)
- ・ 看護師の役割を把握して、チーム医療として働きかけを行っていく必要性を学べた。(看護師)
- ・ 他の病院の外来化学療法の現状がわかり、自分の病院の改善点を明確にできた。(看護師)
- ・ 説明がわかりやすい。県外の講師の方が来て下さると視野が広がり、地元の医療を客観的に捉えられる。良いところも悪いところも話し合えるような雰囲気があった

- ように感じた。(MSW)
- ・ 外来化学療法の現状について学ぶことができた。埼玉医科大学国際医療センターでの取り組みの中で、MSWと1回/週カンファの機会を持っているということをおうかがい参考になった。(MSW)
 - ・ 外来での化学療法の費用と入院時の費用など興味を持てる内容だった(事務)
 - ・ チーム医療としての取り組みは重要であるが、実際難しいところがある。他施設の外来化学療法の様子を知ることができ、良かった。(薬剤師)
 - ・ 他の医療機関での取り組みや現状を知ることができた。(薬剤師)
 - ・ 「言葉に始まり、言葉に終わる」という言葉が印象に残りました。言い方で受け取るイメージが違うので「言葉」は大切だと思いました。(薬剤師)
 - ・ 外来化学療法の取り組みについて、いろんな施設での話が聞けてとても面白かったです。抗癌剤の監査は毎回ドキドキ冷や汗ものです。処方箋のチェック、レジメンの管理という no29,30 のスライドを見て、自分はまだまだだな、と思いました。(薬剤師)
 - ・ 現状の比較と問題点、改善点について考えられたこと(看護師)
 - ・ 症例をとおしての検討(医師)
 - ・ 心理的な支えになれるよう患者と医師の橋渡しの存在になりたい。私は外来ではなく病棟勤務なのですが、経験年数も1年半ほどで知識不足なところもあるのですが、患者さんが安全に治療を受けられるようにしたい。
 - ・ わかりやすかった(メーカー 薬剤師)
 - ・ 職種別の役割の説明があったこと(薬剤師)
 - ・ 外来化学療法の現状(よいところもわるいところも)がよくわかりました。緩和ケアの視点からお話をされたこと。(医師)
 - ・ 病院の現状を知ることができ、参考にしたい所が多々あり、ありがとうございました。(看護師)
 - ・ 他病院の現状がわかり、参考になることが多かった。(薬剤師)
 - ・ DrがNsの存在の意味を理解してくれている所(ただの診療補助と思われることが多い)(看護師)
 - ・ 他の病院の外来ケモ状況が良くわかったこと。ヒヤリハットの説明、大変勉強になった。(看護師)
 - ・ 他院の様子がよくわかった。(医師)
 - ・ 非常に具体的で参考になります。(医師)
 - ・ 治療前の採血の改善により、患者さまの待ち時間が短縮したこと。(看護師)

② 気になったところ

- ・ 時間(医師)

- ・ 看護師が現状で問題と感じている医師との連携、協働について、また対応策についてどのように解決されたのか？（看護師）
- ・ 患者様が静かで落ち着いた化療が受けられているのかな？（看護師）
- ・ 人と人をつなぐことは‘ことば’である。言葉に始まり言葉に終わる。（看護師）
- ・ 会場が寒い。場所によるのでしょうか（MSW）
- ・ ヒヤリハットや事故の例を通して、事故の再発防止に努め、事故原因等を含めアセスメントをおこない、今後の治療に活かすということをどの病院も実施されており、いい意味で気になりました。（MSW）
- ・ 治療から緩和への移行時の患者への説明はかなり難しいところであろうと思えた。（事務）
- ・ 緩和ケア。言葉の使い方。（薬剤師）
- ・ 演者で、大変声が聞き取りにくい方がいた。（看護師）
- ・ 薬剤師のコミュニケーション能力について…とても耳が痛かったご指摘でしたが本当だと思いました。モノ相手の仕事の多い仕事ですが、患者さんとのコミュニケーション能力も磨けたらと思います。（薬剤師）
- ・ 待ち時間対策。ヒヤリハットの対策。（看護師）
- ・ こちらの参加者が少なかったところ（大学病院医師）
- ・ 一部声が聞き取りにくかった（メーカー薬剤師）
- ・ 特になし（薬剤師）
- ・ 参加者が少なかった。（薬剤師）
- ・ 各職種の専任・専従のあいまいさがあつて、本当に施設基準を満たしているのか疑問に思う（医師・薬剤師ともに数名が実際に関わっていれば、50%、80%以上の業務に関わるのは難しいように思うが…）。（医師）
- ・ おそい。時間。（医師）

③ 講演に対する要望

- ・ 時間（医師）
- ・ たいへん参考になりました。（看護師）
- ・ 症例があると分かりやすく、実践に生かしやすい。（MSW）
- ・ 今度は緩和ケアに関するお話を聞いてみたいと思いました。（薬剤師）
- ・ もっと多くの人々に聞いて欲しかった。宣伝不足。（メーカー薬剤師）
- ・ 特になし
- ・ ①インシデント、アクシデント②がん患者の心のケア（ 1）グリーンケア2）どう寄り添えば患者さんが安心して治療を受けられるか、具体的に実例をあげて…）。

次回の講演で希望すること

- ・ がん治療と医療費（医師）
- ・ 今回の場所は不便です。できれば医学部講堂で。在宅（病診連携）。土曜日の午後は参加しやすいのでよかった。（医師）
- ・ 土曜日の午後がいいです。（看護師）
- ・ 相談支援に関する内容もあるといいなと思います。（MSW）
- ・ 場所がわかりにくかったので、次回からポンペ会館などわかりやすいところにしていただけたらと思います。（MSW）
- ・ 参加者が少なかったのは残念であり、広報をもっと考える必要があった。（事務）
- ・ 県央地区での開催も検討してほしいです。（薬剤師）
- ・ 病診連携について（薬剤師）
- ・ 長くなりすぎ。（医師）
- ・ 看護についての講演など聞きたい。（看護師）
- ・ 場所、時間…適切だと思います。（メーカー薬剤師）
- ・ へき地におけるがん対策。まだ地域格差が大きい…。ホスピスが少ない…。（医師）
- ・ 平日の夜を希望。（薬剤師）
- ・ 放射線治療の話を聴きたい。ストロンチウムのデータがぼちぼち集約されるのではないかと思うのでその話も！（医師）
- ・ 平日（医師）

がん診療センターに対する要望

- ・ 会場が寒かった。
- ・ 出席証明書が励みになります。第1回目の分も頂けますか…